

## 令和4年度東京都 MICE 連携推進協議会（第1回）開催概要

日 時 令和4年6月28日 10時00分から12時00分

場 所 ビジョンセンター西新宿706及びオンラインによるハイブリッド開催

出席者 令和4年度東京都 MICE 連携推進協議会 委員16名

### 協議内容

- ・東京都からの報告
- ・観光庁からの説明
- ・議事

### 開催概要

第1回の協議会では東京都から次期「東京都MICE誘致戦略」の策定に向けた今後の進め方についてのご報告、観光庁からは最近の MICE の動向や今後の対応の方向性等についてご説明いただきました。議事については今年度実施する公開シンポジウムについて、及び ALL TOKYO による業界の早期回復に向けたマーケティングについて議論いたしました。

### 委員からの主な意見（要旨）

#### 【公開シンポジウムについて】

- 最新テクノロジーに関する取組は重要であり、「先端テクノロジーを活用した次世代型 MICE」はテーマとして相応しい。
- シンポジウム実施の際には、喫緊の課題に対する視点だけでなく、中長期的な視点を明確にして行うことが必要。
- メタバース、ウェブスリー、NFT など最近よく耳にする先進技術的な DX を、どのように MICE に取り込み、発信すべきか、海外ではどのように活用しているのか等も議論してほしい。

#### 【ALL TOKYO による業界の早期回復に向けたマーケティングについて】

- MICE に関する情報を発信すべく、財団の発信力に期待。併せて、官民、業界連携による発信力の強化が必要。
- 多くの人材が観光関連産業から転出、流出しており、人材の確保・育成に関する支援を求める声が多い。人材確保を含めた受入環境整備に向けた取組が重要。
- SDGs の観点では、業界全体としての継続的な成長と、業界全体でカーボンゼロやペーパーレスといったサステナブルに対する取り組みを推し進めるべき。
- ファムトリップや海外見本市への出展は非常に重要。特にファムトリップにおいて、メディアも招聘し、世界に対してポジティブな発信をすべき。
- MICE 参加者向けに、地域特有コンテンツの更なる磨き上げ、情報発信が必要。
- アフターコロナにおいて重要なキーワードは、「地域一体」「合意形成」「安全・安心」「異業種・異産業の共創」。

- 日本／東京の MICE を今後どのようにしていくべきか、世界的な共通基準や日本独自の考え方を観光という視点と組み合わせて、議論することが必要。

以上